

基準化等作業・候補項目の現状

分野	基準化等に向けて作業を進めている項目	基準化等の候補として検討している項目
1. 子供・高齢者の安全対策		1-1.乗車人員の体格差等の考慮* 1-2.チャイルドシートの安全対策(R129)
2. 歩行者・自転車乗員の安全対策		2-1.車両後方・周辺視界基準の拡充* 2-2.歩行者頭部保護性能の向上* 2-3.歩行者脚部保護性能の向上 2-4.灯火器技術の高度化*
3. 大型車がからむ重大事故対策		3-1.大型車の後退時警報音*
4. 自動走行など新技術への対応	ハイブリッド自動車等の静音性対策*	4-1.自動操舵(ACSF)* 4-2.レーンキープアシスト 4-3.パーキングアシスト 4-4. e-security / e-safety* 4-5.電気自動車の安全性* 4-6.燃料電池自動車の安全性* 4-7.超小型モビリティの安全性能
5. 乗員保護対策	5-1.補助座席への座席ベルト等装着義務付け 5-2.任意設置された座席ベルト(R14,R16) 5-1.フルラップ前面衝突基準	5-2.頸部傷害軽減対策の強化 5-3.コンパティビリティ改善対応ボディ等の前面衝突対応(R94) 5-4.シートベルトリマインダー
6. その他安全対策	6-1.DRL(Daytime Running Light)(R87) 6-2.オートライト* 6-1.二輪自動車等の緊急制動表示灯	6-3.ドライブレコーダー 6-4.EDR(イベント・データ・レコーダ) 6-5.飲酒運転防止対策 6-6.ブレーキ・オーバーライド・システム 6-9.緊急自動通報装置*(e-call) 6-10.LPG専用装置(R67) 6-11.カーブ進入速度注意喚起装置

*：平成28年交通政策審議会報告書中取り組むべき事項として挙げられているもの
 (一)見え消し：平成28年交通政策審議会以降に、直近において作業が完了したもの
 赤字：次回改正等を予定しているもの

(参考)主な車両安全対策(基準・アセス・ASV)の検討状況

分野	安全基準	自動車アセスメント	ASV・SIP
子供・高齢者の安全対策	・チャイルドシートの安全対策(R129) ・乗車人員の体格差等の考慮*	・チャイルドシート性能評価の向上(2019年開始予定)	・ドライバーモニタリング*
歩行者・自転車乗員の安全対策	・車両後方・周辺視界基準の拡充* ・歩行者脚部保護基準の拡充 ・歩行者頭部保護基準の拡充* ・灯火器技術の高度化*	・歩行者保護性能評価の向上(2016年開始) ・対歩行者AEBS*(2016年開始) ・対自転車AEBS* ・夜間対歩行者AEBS*(2018年開始) ・高機能走行用前照灯 ・夜間前方歩行者注意喚起装置	・歩車間通信による運転支援システム ・可変型高度速度制御装置(ISA)*
大型車がかからむ重大事故対策	・大型車の後退時警報音*		・ドライバー異常時対応システム* ・可変型高度速度制御装置(ISA)*【再掲】
新技術への対応 (自動走行関係を除く)	・ハイブリッド自動車等の静音性対策* ・燃料電池自動車の安全性* ・電気自動車の安全性* ・超小型モビリティの安全性能		
自動走行関係	・自動操舵(ACSF)* ・レーンキープアシスト ・パーキングアシスト ・e-security / e-safety*	・車線維持支援制御装置(2017年開始予定)	・運転支援に関するHMI ・車車間通信による運転支援システム
乗員保護対策	・頸部傷害軽減対策の強化 ・コンパティビリティ改善対応ボディ等の前面衝突対応(R94) ・シートベルトリマインダー ・任意設置された座席ベルト(R14, R16)	・乗員保護性能評価の向上 ・総合安全性能評価の対象拡大(軽トラック等)	
その他安全対策	・ドライブレコーダー ・EDR(イベント・データ・レコーダ) ・飲酒運転防止対策 ・DRL(Daytime Running Lamp)(R87) ・ブレーキ・オーバーライド・システム ・緊急自動通報装置*(e-call) ・LPG専用装置(R67) ・カーブ進入速度注意喚起装置 ・オートライト*	・事故自動通報装置(2017年開始予定) ・ふらつき注意喚起装置 ・踏み間違い防止装置*	・ASV基本理念等の再検討 ・ASV技術の共通名称の検討* ・ASV技術の正しい使用方法の周知*

※青字は国際基準として議論されているもの

※緑字は開始時期決定済のもの

※紫字はSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)